

「食べたい」に寄り添う栄養ケア



島川由衣 [しまかわ・ゆい]

介護老人保健施設インターコート藤（長野県）

はじめに

2015年4月から医療法人百藤会介護老人保健施設インターコート藤の管理栄養士として、ご利用者の栄養管理に携わらせていただいています。

お一人おひとりがその人らしく生活できるケアをめざしています。現在は在宅復帰棟を担当し、日々多職種との連携を意識しながら自立支援や在宅復帰支援に取り組んでいます。

施設紹介

長野市は長野県の北部に位置する県都中核市で周囲は美しい山並みに抱かれ、善光寺の門前町としても全国的に知られています。

当施設は、犀川さいかわと千曲川に挟まれかつて戦国時代「川中島の戦い」の舞台となった地域にあり、1998年4月に開設されました。入所150床（内認知症専門棟50床）、通所リハビリ40名、その後短期入所生活介護施設30床を増設、後に地域密着型特定施設有料老人ホーム20床を開設しました。老健施設の理念・役割であるご利用者の意思・人権を尊重し、リハビリの充実、在宅復帰・在宅支援を図り、自己研鑽に努め、地域連携を図りながら地域に根差した施設をめざしています。

業務について

高齢期は身体状態や患っている病気もさまざまで、食べるための機能は個人差が大きいと感じています。個人に合わせた食事を提供するためには、ご利用者の状態や意向などの情報収集が欠かせません。ミ-

ルラウンドなどをおして収集した情報をもとに、介護職・看護師・リハビリ専門職・相談員とともに食事内容や食事環境などの検討を行います。思いどおりにいかないこともありますが、さまざまな角度から何事もチャレンジしてみることが大切だと感じています。

栄養課では毎月給食だよりを発行しています。食育・健康情報の発信をおして、ご利用者をはじめご家族や地域の方により豊かで元気な生活を送ってほしいとの願いを込めています。また、施設内の様子やご利用者の作品も掲載し、季節感や施設の魅力も発信しています。給食だよりを読んで食事を楽しみにしていただくだけでなく、ご利用者の制作意欲向上につながっているのもうれしい点です。

給食だよりは施設職員向けにも掲示しています。また、職員向けに食中毒予防の勉強会や、外部講師を招いての口腔ケア研修を開催し、多方面からおいしく安全に食べていただくための意識や技術の向上に取り組んでいます。

特別なひとくちのために

当施設の食事は、食べて楽しく過ごしていただく・元気になるっていただくものでありたいと思っています。お誕生日献立やお誕生日ケーキバイキング&喫茶会・郷土食・季節の移ろいを感じる毎月の行事食など、ご利用者の生活に彩りを添えられるよう年間を通して「食べる楽しみ」をお届けしています。お一人おひとりの状態に合わせられるよう、食事は主食7種・副食8種の食事形態、多種の栄養補助食品を用意し、主菜を中心になるべく嗜好への対応をしています。また、必要